



自転車社会の環境改善を目指して No.37

お役所は駐輪難民を救助できないのか？

文

特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会 会員 松本 東喜雄
 輪行自転車及び駐輪場 研究員

事務局：〒 141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4 階
 TEL 080-3918-2932
 URL <http://www.cyclists.jp/>



1. 初めての京都ポタリング

駐輪難民問題に目覚める。

筆者は還暦を特に意識はしていませんでしたが、膝の筋力を鍛えないと将来日常の歩行が困難になりそうと危機感を覚えたんです。その危機感から身近な自転車で脚力を強化できないかと自転車でポタリングをはじめました。ポタリングは買物時の往復、銀行や郵便局への往復、身近なところからはじめました。そして中国の通訳さんが秋の日本観光、京都2泊3日をしたいというので自転車でポタリング観光をすることになりました。

京都駅近くでレンタル自転車を借りスマホでナビしてもらい京都の観光地を訪問しました。車で京都観光は過去に経験済みですが自転車は初めてです。京都の観光地には駐車場の近くにならず駐輪場がありました。さすが人気ナンバー1の観光地、みどころがたくさんありますが自転車でもどこへも行けるわけではなく京都には自転車使用禁止地区もあります。禁止区域では自転車を押しつけて観光をします。自転車使用禁止区域の道幅は広くあちこちの店舗前に、自転車が整列駐車しています。自転車観光にはこの自転車使用禁止区域での駐輪はたいへん便利でした。

しかし人気スポット錦市場は自転車での観光は無理でした。道が狭く歩行者の数は通勤時の鉄道駅構内のように。錦市場周辺には車用のコイン駐車場はあちこちにありますが、自転車の駐輪場は前もって駐輪マップを入手しないとわかりにくく駐輪難民になると思いました。筆者は錦市場からすこしはなれた場所の市営富小路六角駐輪場を利用しました。

駐輪難民問題に目覚めた京都ポタリング観光でした。

2. 民間施設に駐輪禁止が目立つ東京都行政

ポタリングに目覚めた筆者は東京出張時も東京に持参した自転車を利用するようになりました。自転車活用推進研究会で知り合いになった田中氏主催の散走サロンin東京に参加させていただき、東京ポタリングで東京新発見を楽しんでいます。新発見の中で東京民間施設に駐輪禁止のシールが多いと気づきました。特に駅前の施設は、駐輪禁止のシールはあってもそこに有料駐輪場の案内は見当たりません。

高田馬場の駐輪場は駅前には数箇所ありますが、ほぼ満車で駐輪困難です。表通りは歩行者が多く、駐輪場は店舗前のスペースに限られます。レ



高田馬場ポタリングで発見したレンタルCDツタヤさんの無料コイン駐輪機



レンタルCDツタヤさんの無料コイン駐輪機は利用者に専用コインを渡し、顧客であれば無料で利用できるよう考案されたナイスアイデアです。レンタルCDツタヤさんのような無料コイン駐輪機で駐輪場を設置する民間施設はまだまだ少数ですが、今後コンビニ等に設置されると便利と思います。

東京都は民間施設に駐輪場設置を義務付けているのですが、現状は駐輪禁止のシールが実態で有料駐輪場の案内はどこにも見当たりませんでした。



民間まかせではもはや限界。民間に駐輪禁止増加中。お役所の民間任せ行政では駐輪難民が増加し負のスパイラルに陥る。



「自転車検定」を始めました

インターネットで、いつでも受験できる「自転車検定」サイトを設けました。無料のお試し検定も行っています。自転車活用推進研究会のホームページ<<http://www.cyclists.jp/>>からどうぞ。



3. 駐輪難民対策としてガードレールに駐輪できないのか？

京都観光ポタリングではガードレールに多数のワイヤーロック自転車を見たし、新宿ポタリングでも多くの自転車がガードレール駐輪していた。車にはパーキングメーターで駐車可能なのに駐輪難民対策として自転車にはそのパーキングメーターがない。レンタルCDツタヤさんで見たコイン駐輪機を自転車用パーキングメーターとしてガードレールに設置できないものだろうか。ガードレールに自転車用パーキングメーターは見かけたことはないが、西新宿ではパーキングメーターのような駐輪機を発見した。これでも駐輪対策として有効ではあるが、さらに台数が増やすためにはコスト安価でオペレート安易、駐車違反取締員を有効活用できる一石二鳥の方法はないものだろうか。

4. 放置自転車と違法駐輪自転車対策で頭を悩ますお役所仕事

自転車活用推進研究会の講演会では利用者の多い公共機関駅周辺は放置自転車と違法駐輪自転車対策で、毎回頭を抱えているとお役所の説明を拝聴しています。

福岡県の某職員は従来の方式では、放置自転車と違法駐輪自転車対策に限界があることがわかっている。わかっているが、その答えが自転車ナンバー登録制であったり、地域シェアサイクルであったり、現在の法律

や今の利用者になじまないものばかりで、現状を打破できるものがはっきり言って無いと断言されている。

しかし、ガードレールにコイン駐輪機を設置したらどうだろう。コイン駐輪機の管理運用は駐車違反取締員が兼務すれば一石二鳥ではなかろうか。駐輪難民対策として未利用ガードレールの有効活用を提言いたします。

5. 自転車は全員参加型NPO

2015年6月1日法律の改正に伴い安全な自転車運転の啓蒙活動が始まっています。自転車はエコロジー、健康維持、運動機能維持に役立つことは一般に認知され、介護を必要としない老後生活にも役立つ、自転車による健康維持、運動機能維持を広める活動が各地で始まっています。

自転車啓蒙活動の一環でお役所に提言があります。お子様から子育てパパママ、シニアのおじいちゃんおばあちゃんまで安全で快適にすごせる自転車環境の提供には駐輪難民を起こさせない行政対応の必要ありと提言いたします。

6. 後記

京都ポタリング観光では高価なロードバイクがガードレールに鍵付チェーンで多数駐輪しているのを目にしたが、持ち主がガードレールに駐輪する意図は一見して明らか、盗難防止に違いないと思った。もちろん、駐輪に便利な場所であるということもあることも同時に想像できた。他にも民間駐輪場ではママチャリを想定した駐輪機では高価なロードバイクが傷つき、最悪、隣に駐輪したママチャリとあたりフレームを痛めるリスクを考慮しての駐輪で

あったのかもしれない。このようなガードレール駐輪のロードバイクは放置駐輪車ではないが、違法駐輪車として取締り対象になる可能性があるだろう。

自転車活用推進研究会に参加して、京都市の自転車取り組みは優れた取り組みが多いし、京都市は観光地としての景観を重視している。自転車対策も、その一環とお伺いしている。

筆者だけが思ったことかもしれないのですが、自転車観光中、駐輪ロードバイクがガードレールを占拠している場所では、ガードレールに腰掛け、休息を取るグループ一団を見ることは無かったのです。困ったことにガードレールに腰掛け、休息中のグループの一団は、どうみても歩道通行の半分を堰き止めており、観光マナー上も景観上も、とても良いとは思えません。グループ一団の皆様には喫茶店などで休息を頂き 通行の妨害を妨げないよう期待したい。その期待を込めた対策としてガードレールを使用しての駐輪機器に期待している。同時に、高価なロードバイクの盗難防止につながり、さらにロードバイク駐輪難民防止につながるのであれば、筆者の駐輪研究が少しは役立つような気がしている。

筆者の本件研究はまだまだ研究途上にあります。

皆様からの貴重なアドバイスや感想をいただければたいへんうれしく存じます。

最後までお読みいただきありがとうございました。

PP

